



リサイクルQ&A

今回は10月から始まる二輪車リサイクルについてご紹介いたします！

自動車リサイクル法では対象外となっている二輪車のリサイクルが始まります！

Q： 二輪車を処理したいのですが！

A：今年10月までに購入する二輪車登録販売店に引き取りを依頼し、郵便局にてリサイクル料金を納入します。

リサイクル料金は現在決まっていません。決まり次第掲載したいと思います。



今年10月以降に購入した二輪車登録販売店で購入時にリサイクル料金を支払いますので、廃棄時は引取り依頼をするだけです。

Q： 自転車も該当するの？

A：二輪車とは原動機付の二輪車です。自転車は粗大ごみとして出してください。



→ 粗大ごみ

○ 車のバッテリーが、収集場に置いたままになっているところが見受けられます。分別の手引き38ページに無料引取依頼先が掲載されていますので参考にしてください。

《問い合わせ先》大崎町役場 福祉保健課 環境係 TEL 76-1111 内線145



保健師だより

『夏の大敵熱中症！』

夏の日差しが強
い日が続いてい
ますが、みなさん
いかがお過ごしで
しょうか。

日差しが強いとい
えば、子供の頃
ほとんどの方が
『日射病』になる
から帽子をちゃん
とかぶりなさい」と
言われたことがあ
るのではないで
しょうか。夏にな
ると必ずといっていいほど、夏の暑さで
亡くなる子供や高齢者の話を耳にします
ね。今回は夏に多い熱中症について紹介
したいと思います。

熱中症の発生が多い月はなんと言っても7月、8月です。熱中症には日射病、熱失神、熱疲労、熱射病などの種類があります。熱中症とは、高温環境のもとで労働や運動をしている時に体内に熱がたまり、体温調節機能が壊れることで体温が異常に上昇し、内臓や神経などに障害を起こす病気です。軽症では、のどの渇きや発熱、顔が赤くなる、めまい等が現れます。重症では意識がなくなることもあります。

でも起こる恐れがあります。軽く見られがちな病気ですが、実は軽度の症状から短時間で重症化し、死に至ることもある危険な病気です。自分では「ちよっと体調が悪い」「少し気持ち悪い」程度と
思っている間に症状が進んでしまうケ
スが多いのです。
しかし、熱中症は予防すれば確実に防
げる病気なのです。
熱中症の予防は…
①高温・多湿の中で無理な運動をしない。
②吸湿性・通気性の良い服装に心がけ、外
では帽子をかぶること。
③たくさん汗をかいたら水分と塩分の両
方を補う。(市販のスポーツドリンク
やお茶に少し塩を入れたものでもよ
い。)のどが渴いたと思う前にこまめに
水分補給を。
熱中症が疑われたら…
①気分が悪くなったら涼しい所で身体を
冷やす。首、わきの下、足の付け根な
ど太い血管のある部分に氷をあてる方
法が効果的。
②吐き気で水分補給が出来ない時や意識
障害がある場合は、すぐに病院へ行くこ
と。
まずは、予防が肝心です。特に自分か
ら不調を訴えることができない子供や高
齢者は、周りの人が注意して熱中症予防
に努めましょう。

健康に関する相談は、保健センターへお気軽にどうぞ!! TEL76-1111 (内線146・147)